

子育てナンバーワンのまち？！ 待機児童対策、保育士確保策の充実を！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

年度途中で増加する保育所等の待機児童問題や保育士不足、
ごみ有料化への検討など市民生活、子育て環境に大きな影響を
もたらす問題が浮き彫りとなっています。市の現状と課題につ
いてお知らせします。

例年、年度初めには待機児
童は出ていない状況が続いて
いましたが、令和5年度は年
度初めから7名おり、年度末
には82名に上りました。

そんな中、奥州市立みなみ
保育園が計画より1年早めて
の閉園。市立幼稚園が次々と
閉鎖されている状況です。こ
れでは、待機児童への根本的
な対策になっていません。

民間保育施設での対応に 支援を強めていく

今年度は、公私連携のこ
も園と民間の小規模保育所が
開園したこともあり、年度初
めの待機児童は発生しませ
んでした。

2つの民間保育施設で3歳
未満クラスの定員を増やして
いるとのことですが、公立で



は、昨年と変わりはありません。

公立保育施設の役割は、民
間で担えない部分を補い、保
育を受ける権利をしっかりと
保障していくことです。待機
児童やそこにカウントされな
い、家庭の事情で入園できな
いとされている（居住地から
遠いなどの理由で希望施設に
入れない）児童の受け入れを
公立施設が担っていくことが
求められています。

保育士確保へ

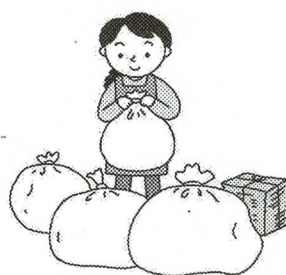
抜本的な対策を

市はこれまで、非正規保育
士を採用する予算を計上し対
応しようとしてきましたが、

ごみ有料化の検討？

最近ではそれすら計上されていま
せん。
市は、奨学金返済補助金事業を
継続実施する方向ですが、不十分
と言わざるを得ません。

保育士の抜本的な処遇改善を国
に求め、3歳未満児を受け入れら
れる体制づくりができるよう、保
育士確保へ全力で取り組むべきで
す。



奥州市では、家庭
ごみ等の処理経費の
一部を市民に負担し
ていただくかどう
か、検討を始めてい
ます。日本共産党奥
州市議団は、4月
23日、岩手県内で
唯一ごみ処理経費の
手数料化（以下、ご
み有料化）が行われ
ている北上市の現状
について、党北上市
議団と懇談しまし
た。

北上市では、平成20年12月
からごみ有料化を実施してい
ます。この時期北上市では、
人口増による将来のごみ増加
が懸念されており、処理費用
もかさむため、市民に一部負
担していただき、ごみの減量
にもつなげるため導入されま
した。さらに、一時的な居住
などの理由で北上市に住民登
録をしていない場合、市民税
を納めませんが、ごみ袋の購
入を通して、処理費用を負担
していただくこととなりま
す。ごみ有料化により、家計
に大きな負担が増えます。

有料化で一時的に減少

ただし、子育てや介護で発
生する「紙おむつ」は無料で
す。また、ごみの不法投棄増
加が懸念されます。有料化で
ごみは一時的に減りましたが、
その後横ばいとのことでは
す。

分別・資源化で減らす

ごみ処理は奥州市の大切な
仕事の1つです。市は、過剰
包装させないなど「ごみをつ
くらせない」「生ごみの堆肥
化」などにもっと努力すべき
と考えます。それでも出たご
みは、住民と共同して、分
別・資源化で相当減らすこと
ができます。

メーデー

にご参加ください♪

★5月1日 14時から

★水沢体育館前

※雨天時は
体育館内で集会

